



(第 44 帖 竹河より部分)

本市ゆかりの紫式部が著した『源氏物語』は、物語成立直後から、この長大な物語を視覚的に理解し楽しもうと、絵画化され、この絵画化されたものは「源氏絵」と呼ばれ、現代までに形を変えながら広く普及し、日本美術における一大ジャンルにまでなりました。

今回の企画展では、源氏物語五十四帖の各一場面を画題として、「源氏絵」の代表的な場面だけでなく、作者である神谷雪子氏が物語を読んで独自に描いた場面・登場人物等の切り絵作品を紹介します。

併せて、神谷氏の切り絵作品をモチーフとして制作された白川喜代次氏作の竹灯籠作品を展示し、光と影で表現された『源氏物語』の繊細で幻想的な世界をご堪能ください。



(葵)

(薄雲)

(横笛)

(蜻蛉)

◆ 切り絵作者 ◆ 神谷 雪子 (かみや・ゆきこ)

昭和 22 (1947) 年生まれ。群馬県前橋市在住
平成 19 年に前橋中央切り絵同好会に入会し、切り絵に親しむ傍ら、平成 21 年より交通新聞に「源氏物語」の連載を開始。平成 23 年には、全国切り絵同好会の講師に認定され、平成 24 ~ 28 年には、全国切り絵コンクール入選を果たす。



平成 26 年 源氏物語展を開催 (渋川市吉岡町図書館)

平成 29 年 源氏物語切り絵と竹灯籠展開催 (日本切り絵百景館)

◆ 竹灯籠作者 ◆ 白川 喜代次 (しらかわ・きよじ)

昭和 20 (1945) 年生まれ。滋賀県竜王町在住
平成 25 年、浮き出る美しい絵と光の暖かさに惹かれ、竹灯籠作りを始める。平成 26 年に神谷雪子氏の切り絵文集『源氏物語』に出会い、使用許諾を得て、源氏物語シリーズで順次、製作にかかる。



平成 27 年 滋賀県、大阪府等の展示会において作品を出品

平成 29 年 神谷氏の切り絵とのコラボ展開催

◆ 関連イベント ◆

- ギャラリートーク 4月27日(金)
午前 10 時から当館 展示室2にて開催します。
講師：神谷雪子氏 (切り絵作者)
※参加費は無料ですが、観覧券が必要です。
- 体験ミュージアム「はじめての切り絵」5月27日(日)
午後 1 時 30 分から当館 貴賓室にて開催します。
講師：「.IORI.」ひいらぎいおり氏 (切り絵アーティスト)
材料代：(実費) 定員 20 名 (小学校高学年以上)
※ 要事前申し込み：0778-21-3900 (先着順により受付します。)



交通のご案内

- JR / 「武生駅」より徒歩約 5 分
- 福井鉄道 / 「越前武生駅」下車徒歩約 8 分
- 市民バスのろっさ / 福井鉄道「越前武生駅」前乗り場より市街地循環南ルートで約 4 分「公会堂記念館」下車 (※日曜は運休)
- 車・タクシー / 北陸自動車道「武生インター」より約 10 分
※ご来場の際はできるだけ公共交通機関をご利用下さい。お車の際は、アイドリングストップにご協力下さい。